

●国会を取り囲み、戦争法反対、安倍首相退陣を求めて  
コールする人たちは=2015年8月30日、国会正門前  
(「しんぶん赤旗」提供)



野党は共闘

民主主義はとまらない

# 小林きょう子

茨城選挙区 定数2 予定候補

戦争法廃止・野党共闘すすめる  
日本共産党の躍進を

2016年7月  
参議院  
選挙

**市川紀行** 元美浦村長

よく呼びかけてくれた。戦争法反対の人は、みんなそう思っている。政府を代えなくてはならない。選挙協力をしよう。止めるにはそれしかない。

**田中重博** 元茨城大学副学長

日本共産党が提唱する「国民連合政府」に全面的に賛成です。戦争法を廃止し、立憲主義を国民の手に取り戻さなければ、この国の未来はありません。

「Sauda@Ibr」共同代表 **金子直美さん**

戦争法廃止の一点で思想信条を超えた連帯は生まれました！私たちの未来を守るための国民連合政府の実現に期待しています！

**二見伸明** 元公明党副委員長・元運輸大臣

共産党と手を組むぐらいの度胸がなければ政権は取れない。「小異を残して、大同につく」ことが必要だ。

「戦争法案に反対するママ・パパの会@つくば」  
**だれの子どもころさせぬい** 代表 **山中真弓さん**

危機感を感じます。子どもを抱えて国会前の行動に参加できなくても、みんなでできることをやろう。戦争法を廃止にしたいです。

「だれの子も戦争に送らない！」  
学生も学者もママも弁護士も労働者も  
国民の歩みは止まらない

日本共産党は  
比例代表で改選3議席から  
8議席以上をめざします

参議院選挙 制度解説

●18歳選挙権が始まります

選挙区は候補者名で

比例代表は政党名で

比例代表予定候補  
茨城 群馬 埼玉 栃木  
元埼玉県議  
**おくだ智子**



日本共産党  
Japanese Communist Party



**小林きょう子のプロフィール**

- 1950年鹿児島県生まれ
- 鹿児島女子短期大学卒業
- 東京科研工業(株)を経て、マックスファクター(現在SK II)に勤務
- 1988年から県南農民組合事務局局長、全国農民連常任委員・女性部副部長
- 2012年衆院選に茨城3区から初挑戦
- 龍ヶ崎市在住
- 趣味はカメラ、小旅行
- 好きな言葉は「人生は素晴らしい。大事なことは、勇気と想像力。そして少しのお金だ」(チャップリン)

# 茨城から「戦争法廃止」「立憲主義をとりもどす」議席を

茨城選挙区 定数2 予定候補

## 小林きょう子

2016年7月  
参議院  
選挙

「入院代は払えないし、病院を出ても暮らせないから死なせてほしい」と医師に頼む人、食事もまともに取れない子どもなど、毎日が涙しない日がないほど。「この政治を変えなければ!」という強い思いが、私のエネルギーに。

私が農民運動にたずさわって24年間。農業は、自民党政治によって痛め続けられてきました。その農民も「もう、黙ってはられない!」と「もの言う農民」へと変化しています。

憲法9条を改定し「戦争ができる国」へと暴走する安倍政権に、政治に興味を持たなかった人たちが、自分の言葉で語り、みずから行動し始めている市民の力もエネルギーに。「ひとり一人が人間として大切にされる社会」—それは平和があってこそ! その実現のために、全力でがんばります。



**日本共産党**  
Japanese Communist Party

### 食と農を守って「いのちのバトンタッチ」

全国農民連常任委員として、食と農業を守りたいと、全国をかけまわっていた小林さん。「安全な食料は日本の大地から」の思いは今も変わりません。

未来の子どもたちに「いのちのバトンタッチ」を信条に、農業破壊のTPPを許すなど訴え続けています。



「増税もTPPも反対」とデモする小林さん



アイガモ農法の生産者を訪ねる



大豆畑トラスト運動でつくった豆で子どもたちと豆腐づくり



税金相談で農家を1軒1軒訪問

### 子どもたちの未来は大人の責任

次世代への負の遺産となる原発。小林さんはドイツやスイスで自然エネルギーの取り組みを学び、原発ゼロの日本をめざします。

東海第2原発は再稼働を許さず、廃炉にすべきです。



「市民ソーラー産直初いばらき」で2015年秋から売電開始



再生可能エネルギーを学びにドイツ・フライムト村へ(2012年)



「原発NO! TPP反対国民大集会」に農民組合の仲間と参加(2011年)

### 反戦の思いは父の戦争体験から

「戦争は市民をまきこんで残酷な惨事となり、人の心も変えてしまう。戦争は絶対にだめだ」と、小林さんに何度も話して聞かせた父の言葉。これが、平和を願う活動の原点です。



一点共闘「戦争法案反対・茨城総がかり行動」で訴え(2015年)



朝鮮総督府鉄道の機関士だった小林さんのお父さん



軍隊禁止の憲法をもつコスタリカを訪ね子どもたちと交流(2002年)

軍力力でテロはなくせません。国際社会が結束して、暴力と報復、差別と貧困の連鎖から抜け出す支援を。